



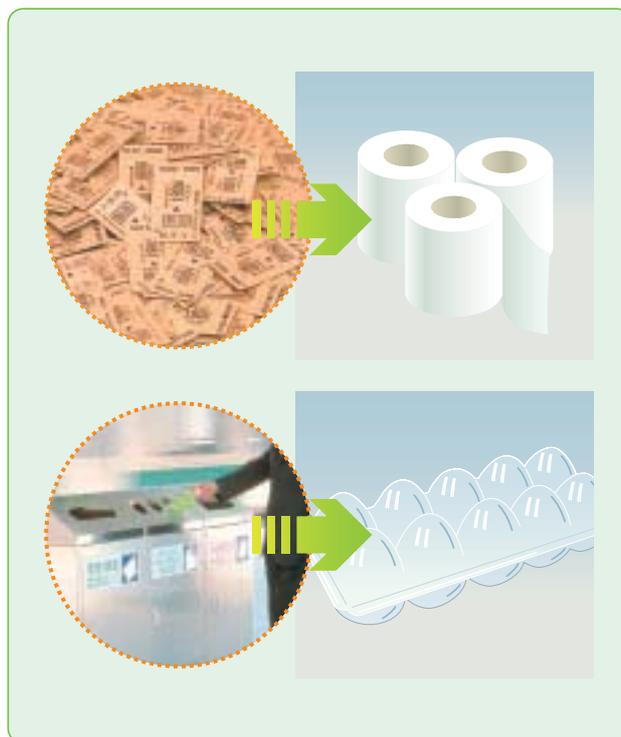
駅で捨てたゴミや使い終わった切符はどこへ行くの？

自社のリサイクルセンターを活用し ゴミの再資源化率をアップ

大量生産、大量消費、大量廃棄の世の中から抜け出すための試みが各方面で続いています。JR東日本でも、資源循環によるゼロエミッション社会に向けた努力を続けています。

JR東日本からは年間に約56万トンの廃棄物が出ています。このうち約5万トンはお客さまが駅や列車で捨てるゴミ。このなかには新聞紙や雑誌、ペットボトル、アルミ缶などが含まれます。こうしたゴミは、JR東日本独自のリサイクルセンターなどで再資源化しています。例えば切符はトイレトーパーなどに、新聞・雑誌はコピー用紙などになり、JR東日本で再利用されています。こうした取り組みにより2002年度には、駅や列車で発生するゴミは37%がリサイクルされました。また車両工場からの廃棄物は74%、工事現場からの廃棄物は84%がリサイクルされました。

 p33



新木場リサイクルセンター

新木場リサイクルセンターでは、駅などから回収した新聞と雑誌を分別し、圧縮、減容して製紙工場に送り出しています。

